

天理大学年史編纂室主催 講演会

# 100年の節目に 大学キャンパスの「原点」について考える

天理大学創立100周年イベント



2025年に創立100周年を迎える天理大学。

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成を目指す世界のなかで、わたしたちは今あるものの価値に目を向けます。とりわけ、開拓精神をもって世界に羽ばたく人物を育てようと設立された天理外国語学校の、そうした精神を体現する天理大学1号棟に注目し、その現代的意味について考えたいと思います。

## 2024年11月1日【金】

時間 10:45~12:45  
(10時15分、受付開始)

参加費 無料

会場 天理大学附属  
天理図書館  
2階講堂

\* 公共交通機関をご利用ください  
\* 講演会当日は大学祭開催中です

内容 講演、トークセッション  
天理大学キャンパスツアー



NAKAO Nanataka

中尾 七隆 氏

株式会社中尾組（奈良県桜井市）代表取締役専務。現在、奈良県建築士会会長。都市再生推進法人桜井まちづくり株式会社取締役。



KUWAHARA Masahiro

桑原 正弘 氏

佐賀大学大学院修士課程修了。平成22年より、天理教養部建築課にて、本部神殿をはじめ周辺施設の計画、設計、工事監理業務に従事。一級建築士。

トークセッション

講師

トークセッション

KAWASHIMA Tomoo

川島 智生 氏

建築史家（博士：PhD）

一級建築士  
京都華頂大学前教授  
神戸情報大学院大学客員教授  
大手前大学客員研究員

1998年国立京都工芸繊維大学（博士：PhD）。近代建築史を専門として、文化財指定や登録を担う。科学研究費出版助成により『近代京都における小学校建築』などを出版。他に『岩崎平太郎の仕事』『民芸運動と建築』など多数著作あり。小学校建築や近代建築にとどまらず、寺院や神社、住宅の建築をとおして地域史の掘り起こしを行っている。

主催：天理大学年史編纂室 連絡先：nenshi@sta.tenri-u.ac.jp